



03 地域ぐるみで子どもを見守る 子どもを見守るまち宣言



01 アートコーディネーターとして 地域おこし協力隊の新隊員が着任

10月1日から地域おこし協力隊の新隊員として、東京都出身の佐藤ももさんが着任しました。以前は、アパレル関係やウエディング業界でデザイナーとして活躍されていました。「アート」での地域おこしを担う佐藤隊員は、企画政策課に所属し、アートを活かしたまちづくり、特にART369プロジェクトの推進に取り組んでいく予定です。

▼問い合わせ
○市区民協働推進課
☎0287(62)7128

子どもが巻き込まれる悲惨な事件や事故が多発している近年、地域全体での子どもたちの見守りがますます重要になっています。地域と行政が連携し、子どもを見守る意識を高めるため、市・市議会・教育委員会・自治会・コミュニティの5者共同で宣言を行いました。一人一人の意識の積み重ねが地域の安全を高めます。皆さんも、子どもたちの登下校時などに協力をお願いします。

▼問い合わせ
○生涯学習課
☎0287(37)5364



04 みるメールに登録して 来るべき災害に備えを



02 語りべが書いた「しおばらの民話」を 市と教育委員会に寄贈

1200年に渡り伝承されている伝説や昔話などの塩原の民話。小学校や高齢者施設などで口演を行う「塩原のかたりべ」の皆さんが、「しおばらの民話」と題した一冊に36話をまとめました。「まちに愛着を持ってほしい」と、10月17日に市と教育委員会へ寄贈。寄贈された図書は、市内の保育園、小・中学校や図書館、公民館などに設置されます。

▼問い合わせ
○市民協働推進課
☎0287(71)51

携帯電話やパソコンに、防災情報や生活情報などをメールで届ける「みるメール」。現在約1万2千人が登録しています。昨年「命を守る情報」も配信開始。ぜひ、登録をお願いします。

▶配信する防災・災害情報
大雨や洪水などの気象警報、災害の被害発生情報、避難勧告(指示)、避難所開設情報

▼問い合わせ
○生涯学習課
☎0287(62)7529



登録はこちら

■特別会計の 決算状況

特別会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	140億3,327万円	134億3,795万円	5億9,532万円
後期高齢者医療	11億1,761万円	11億 937万円	824万円
介護保険	80億5,047万円	77億2,294万円	3億2,753万円
下水道事業	31億1,130万円	30億4,088万円	7,042万円
農業集落排水事業	1億1,835万円	1億1,261万円	574万円
温泉事業	5,849万円	4,557万円	1,292万円
墓地事業	477万円	353万円	124万円
産業団地造成事業	2億2,242万円	2億 844万円	1,398万円

■公営水道事業の決算状況

区分	収入	支出	差引
収益的収支(水を作って届けるための収入と支出)	28億4,147万円	24億4,199万円	3億9,948万円
資本的収支(施設の更新などのための収入と支出)	3億8,262万円	14億3,575万円	△10億5,313万円

■財産状況

公有財産						基金 ※特別会計を含む
土地	建物	山林など	無体財産権(商標権)	有価証券	出資による権利	
12,015,187㎡	410,809㎡	6,546,929㎡	2件	2,380万円	7億3,034万円	199億7,170万円

■市債・基金残高(一般会計)

※住民基本台帳人口：117,375人(平成31年3月31日現在)

市債	平成29年度末残高	平成30年度支出額	平成30年度借入額	平成30年度末残高	市民1人当たりの市債残高
	333億9,924万円	45億4,023万円	53億1,060万円	341億6,961万円	29万1,115円

基金	区分	財政調整基金	減債基金	特定目的基金	合計	市民1人当たりの基金残高
	残高	55億9,155万円	16億6,549万円	96億 284万円	168億5,988万円	14万3,641円

■市の財政状況は？ ～財政の健全性に関する5つの指標～

指標	用語解説	H29	H30	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)	市の状況
実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合。	-	-	11.94%	20.0%	すべての会計で黒字のため該当なし
連結実質赤字比率	一般会計などに加えて特別会計や一部事務組合などの関連するすべての会計を対象とした実質赤字額の、標準財政規模に対する割合。	-	-	16.94%	30.0%	すべての会計で黒字のため該当なし
実質公債費比率	一般会計などが負担する公債費や公債費に準じるものなどの、標準財政規模に対する割合。	3.8%	4.2%	25.0%	35.0%	借入金の返済が増加したことにより、負担する割合が上昇
将来負担比率	一般会計などが将来負担する可能性のある実質的な負債額の、標準財政規模に対する割合。	-	-	350.0%	-	将来負担は発生していないため該当なし
資金不足比率	各公営企業会計の資金不足額の、事業規模に対する割合。	-	-	20.0%	-	資金不足は発生していないため該当なし

令和元(2019)年度上半期 財政状況報告

■予算の執行状況(一般会計・特別会計)

※9月議会までに議決を受けたもの

会計名	歳入・歳出現計 予算額	歳入		歳出		
		収入済額	収入率	支出済額	支出率	
一般会計	494億4,119万円	227億5,495万円	46.0%	192億3,016万円	38.9%	
特別 会計	国民健康保険	134億6,908万円	58億4,024万円	43.4%	50億 229万円	37.1%
	後期高齢者医療	11億8,870万円	5億6,057万円	47.2%	4億3,439万円	36.5%
	介護保険	87億 134万円	40億1,097万円	46.1%	30億 939万円	34.6%
	下水道事業	32億1,186万円	10億6,956万円	33.3%	11億4,634万円	35.7%
	農業集落排水事業	2億 819万円	5,509万円	26.5%	4,502万円	21.6%
	温泉事業	7,577万円	3,286万円	43.4%	1,551万円	20.5%
	墓地事業	330万円	327万円	99.1%	33万円	10.0%
	産業団地造成事業	7億 401万円	1,386万円	2.0%	820万円	1.2%

■公営水道事業の経理状況

区分	収入			支出		
	予算額	収入済額	収入率	予算額	支出済額	支出率
収益的収支	28億2,545万円	12億8,883万円	45.6%	26億 947万円	7億1,683万円	27.0%
資本的収支	5億3,953万円	4,809万円	8.9%	17億7,692万円	3億4,122万円	19.2%